

8  
AUG.

# 広報 あおば

第6号

2022年8月15日発行

●発行:青葉台町会協議会  
市原市青葉台2-24-9  
●編集:広報委員会



## 内閣総理大臣賞 受賞1周年記念行事 発表!!

10/8(土)  
開催!

昨年10月13日、39PJ(サンキュープロジェクト)の活動が、「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。39PJ事務局では、この賞の目指すところを

踏まえて、地域の皆さんの更なる認知と参加拡大により持続した活動を展開していくための行事を企画しています。概要は以下の通りです。詳細は、9月の回覧等でお知らせします。(広報委員会)

### (あしたのまち・くらしづくり 内閣総理大臣賞受賞1周年記念行事)

◆主催:青葉台町会協議会まちづくり委員会  
協賛:青葉睦会、みどり会、青葉台さわやかNW、  
青葉台小学校区小域福祉NW、  
青葉大学等の団体

◆開催日時・場所:10月8日(土)

第1部:10時~12時 自治会館

第2部:13時~16時 青葉台中央公園  
(第2部は雨天中止)



#### ◆主なイベント内容

◎第1部:39PJ全体の説明、特に個別新チームの説明と質疑、青葉台音頭の踊りの振り付けお披露目等の儀式など

◎第2部:若い方達向けに「歌って踊ろう」と銘打って、敬愛学園高校の大道芸、市原山火太鼓等の演舞、キッチンカー、露店も準備中。



※内容等は変更になる場合がございます。

## フレイル予防・改善サービス実証事業 始動!



分野:高齢になっても永く住み続けられる街づくり  
課題:フレイル検知実証実験

今回の実証事業は、日常生活の中で、高齢者の行動を電力メーター(スマートメーター)の経時データをAI(人工知能)で分析することにより、実証用に用意された運動指導や食事、見守りなどの健康プログラムを実施することでフレイルの改善・健康維持につながるかどうかを検証するものです。

実証体制は、主催の市原市をはじめ、東京大学大学院、JDSC、ネコリコがAI等情報技術、RIZAPが運動指導、グローバルキッチンが食事提供、第一生命が見守りをそれぞれ担当します。一方、実証のモデル地区である青葉台では、町会協議会まちづくり委員会が中心となり、各町会の働き掛けも含めて一人住まい高齢者の方々の参加募集を行いました。6月17日に主催者による事業説明会が行われ、7月8日から運動指導と食事提供、見守りプログラムが実行されています。7月末時点の参加継続

者は17名(確定)。運動は、毎日の運動プログラムと週一回自治会館で行われるRIZAP指導の集合運動プログラムがあります。食事は、一日一食分が提供されます。参加された皆さんの協力を得て、介護予防の効果を実証されることを期待しています。

※フレイルとは、加齢とともに運動機能や認知機能等が低下し、心と身体の働きが弱くなる状態をいいます。



▲7月29日、ZOOMによるRIZAP運動指導の風景



## “ohanaいっぱい活動”夏への植替え



分野:美しい街づくり  
課題:ohanaいっぱい活動



▲小さなお子様も参加され、夏への植替えが無事完了しました

“ohanaいっぱい活動”の花壇では、6月19日一斉に春の花から夏の花への植え替えが行われました。前週とは打って変わって快晴のもと、日時を変えて先行した町会もありましたが、1～4丁目全て完了しました。その陰には育苗担当者の方の努力により十分な苗が供給されたことに感謝しなければなりません。

当日は一般住民の方々や子供連れの参加者もあり、“ohanaいっぱい活動”の普及と定着化が進んでいる様子が伺え、活動担当者もとても喜んでおられました。7月末現在、各花壇とも近隣の方々の水やり等のお世話のおかげで、酷暑にも負けずお花があふれる程美しく咲き誇っています。(石原)



## 電動カート試乗会第2弾 開催!



分野:高齢になっても永く住み続けられる街づくり  
課題:福祉タウン構想

高齢者支援活動の一環として昨年に続き今年も電動カート試乗会が、青葉台さわやかネットワーク(ASN)主催、(株)セリオ協賛で、6月1日～14日の間7回、1丁目から7丁目の各公園で行われ梅雨時にも関わらず、予定通り無事終了しました。なお、ダイアパレス町会は、充電用の共用電源が未確保で見送りとなりました。

参加者188名のうち試乗された方は125名でした。今回、緑会、青葉睦会など関係者の皆さんの声かけで、昨年と比べると倍以上の方が試乗されました。1回の充電で約20Km走行出来、青葉台の坂は大丈夫との説明を受け、それぞれ試乗体験され、中でも93歳のご婦人も試乗され、もうちょっと若ければと、お話しされていたのが印象的でした。乗らなくてもいいように歩いているんだと言われる方もいましたが、歩けるうちに試乗して運転感覚を掴んでおけば、いざというときに利用し易いと感じました。

なお、7月25日付けの町会回覧で、ASN発行の福祉タウンニュースに、試乗された方のアンケート結果が載っていて、高齢者がこれから向き合っていかなければならない移動に関する問題について更に関心が高まりました。(小屋)



▲電動カート試乗会風景



■電動カートの主な仕様  
時速:0.5～6km/h  
登坂角度:10度  
使用者体重:max100kg  
連続走行距離:28km

